

やさしさ情報 ねりまっぷ・ミニ 完成!!

「ねりまっぷ」は高齢者、障害者、小さいお子さん連れの方などが外出される際に役立つ福祉情報地図。今回の「ミニ版」はさらに気軽に楽しんでもらえるような身近な地域の特徴を活かし、地域の皆さん自身が必要とする情報を追加した地図を、新たに作成する企画です!



大泉地区福祉を考える会

大泉地域の医療と福祉を考える会



西・南大泉いきいきコミュニティ

練馬地域福祉/ハートフルアクターズ



行ってみたい公園マップ作り

大泉町

大泉地区福祉を考える会

<活動報告>

- ・人のいる公園とない公園があることを改善したいと思った。そこで調査票を作成して、公園の状況調査を行い、公園にはそれぞれの長短があることがわかった。
- ・そこで、赤ちゃんからお年寄りまで安心して楽しめるように、グループ分けをして、3つのコースと「ちょっと行ってみたい公園」を地図にまとめた。
- ・マップづくりを通じて、公園へ入ることやトイレの数の少なさなどのバリアフリーにすることの難しさを知った。また、公園に関するボランティアの人がたくさんいることを知った。

<審査員との質疑応答>

饗庭副委員長：マップ作成後も会の活動を続けていくのか。

回答：会の活動を続けていく。マップづくりは、会の一つのプロジェクトとして実施した。

マップづくりの今後についてはこれから決めていきたい。

室地委員：公園実態調査で感じたバリアフリーやトイレに関する困難さは具体的にどうということか。

回答：公園には入口が複数あるが、バリアフリーになっている入口が限られている。全ての入口をバリアフリーにする場合、どこから手を付けるか難しい。



西武線「保谷駅」を囲む南大泉4町会と隣接する西東京市3町会の地域のやさしさミニマップづくり ~障害者トイレを軸に考える~

保谷駅周辺

西・南大泉いきいきコミュニティ

<活動報告>

- ・さまざまな施設のトイレに関する調査を行った。公共施設の多くは、車いすでの利用が可能である。民間施設は、スーパーは可能であるが、コンビニは難しいようだ。
- ・また、まちあるきをして公園を調べ、「車いすで入れること」「ベンチがあること」「水が飲めること」の3点を満たしている場合に地図に載せた。
- ・今後保谷駅前再開発への商店街の対応を商店街と一緒に考えていきたい。食事の宅配、子育て支援も取り上げたい。

<審査員との質疑応答>

室地委員：調査を通じて、練馬区と西東京市の違いで気づいたことはあったか。

回答：今回はそこまでは踏み込んでいないが、以前、区市境を超えて、宅配対応をしないお店もあるようだ。

千葉委員：行政の境では、利用する人は便利な方を選ぶ。行政間で話し合いによって、お互いに近い便利なところを利用できるようになればと思う。

回答：西東京市に、良いまちあるきマップがある。練馬区は、役所のセクションでわかれている。これらをまとめれば良いまちあるきマップができるのではないかな。



ふれあいの街大泉学園

大泉学園駅周辺

大泉地域の医療と福祉を考える会

<活動報告>

- ・当初は、大泉学園駅の北口と南口の社会資源を掘り下げたいという視点から子どもから商店街を巻き込んで、地域の福祉ネットワークをつくらうとしたが、時間が足りなかった。
- ・実際に調査をすると思わぬ所に地域資源があることに気づいた。そして商店の方たちもバリアフリーについて、一緒に考えていこうということになった。これからも活動を続けていきたい。
- ・地域の幅広い社会資源の情報を盛り込むには地図の大きさが足りないと思った。

<審査員との質疑応答>

中野委員長：活動を通じて、たくさんの情報を集めたと思うが、マップに載らない情報も重要だと思う。マップに落とし込めなかった情報を区のHP等をつかって、広く紹介することは可能ですか。

回答：情報は一部の人だけが持っているも役に立たない。知って、利用してもらうことが大事。機会があれば載せたい。

中野委員長：対象を「食」に絞り込んだ理由を教えてください。

回答：人が生きていくために、まず大事なことは食べることだろうという議論になった。



石神井公園商店街店舗出入口バリアフリーマップ

石神井町3丁目等

練馬地域福祉/ハートフルアクターズ

<活動報告>

- ・誰もが商店街で楽しく買い物ができるように、車いすやベビーカーなどでお店に入りやすいかを調べ、お店の写真を撮って、マップに掲載した。古くからあるお店よりも大きなお店の方が車いすで入れるお店が多かった。
- ・石神井公園南口商店街の飲食店30店舗を調査対象としたが、バリアフリー化されているお店が22店舗しかなかった。そのため、食品を扱っている8店舗を加えた。
- ・次は、飲食店以外のお店を調べてみたい。商店街の人たちの意識を持ってもらって、バリアがなくなるとよい。

<審査員との質疑応答>

室地委員：マップを見るとチェーン店はバリアフリーになっているが、私が知っている昔からあるお店はほとんどない。このようなお店のバリアフリー化が進まない理由を掘り下げてもらいたい。

回答：商店街にはバスが通るため、スロープを付けなくていいという要望がある。また、商店街は危険なので買い物ができないという視覚障害者の声もある。

